

* 天文機器資料館見学室の筆記台のラクガキ

こんな表題の記事がアーカイブ室新聞の記事かとお不満の方もあろうかと思うが、ご容赦いただきたい。国立天文台は2000年7月から台内の一部を常時公開し、主に使用されなくなった観測器械類の展示を見学していただいている。そしてその感想などをアンケート用紙に記入してもらっている。しかし、記入する適当な場所がないという声があると聞き、筆者が担当している天文機器資料館(元自動光電子午環室)が見学コースの一番奥まったところにあることもあり、その見学室に筆記台を設置し、プラスチックケースに「筆記台：アンケート等の記入にお使いください」という紙を挟んでセロテープで貼っておいた。するとプラスチックケースからこの紙を取り出していろいろな落書きがびっしり(写真1)と書かれたのである。遂には裏面にまで落書きが侵入してきた(写真2)ので、先日、新しい案内の用紙に交換した。見学コースの展示室には見学に来て感じたこと等を記入するノートが置かれているが、筆者が気づいたときにはもはや余白が全くないよう事態になっていたことがある。見学者はこのように何かを書き残したいと思う方が多いようである。

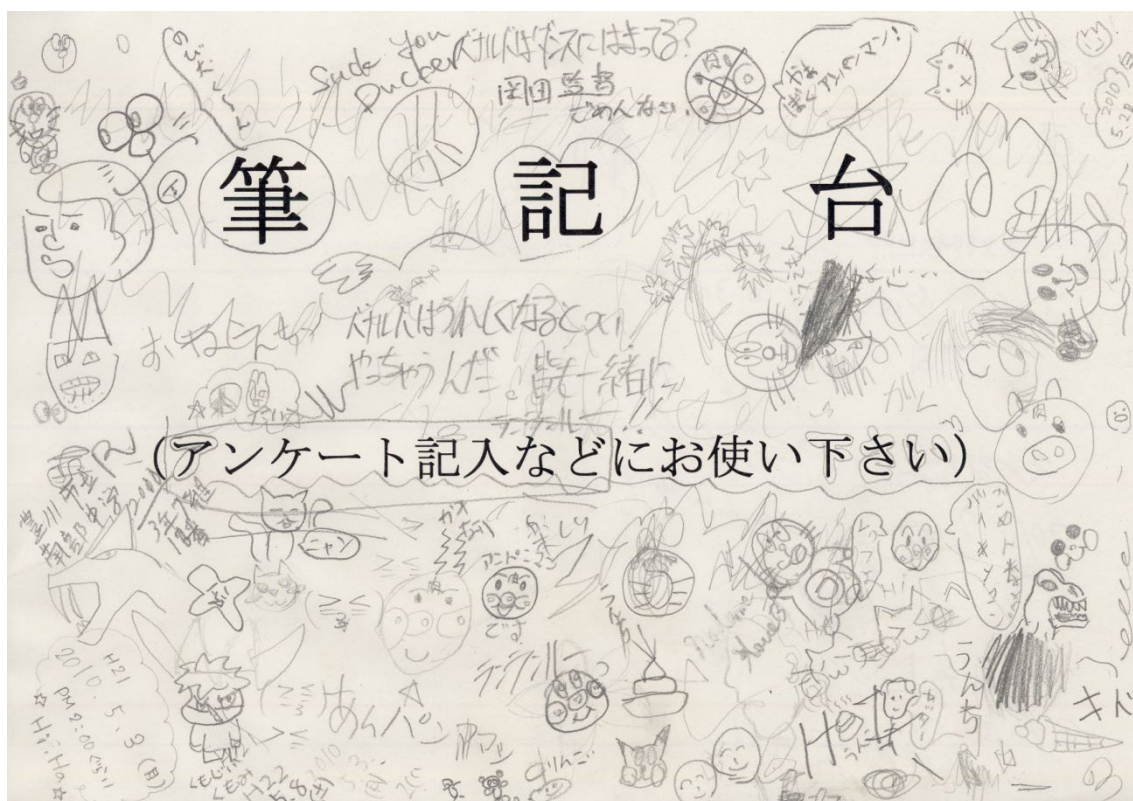


写真1 落書きがびっしりと書かれた筆記台の案内

わざわざプラスチックケースの中の紙を取り出して、このような落書きが書かれている

のだが、筆記台、その他に落書きが無いのは見学者のそれなりのステータスであろうか。

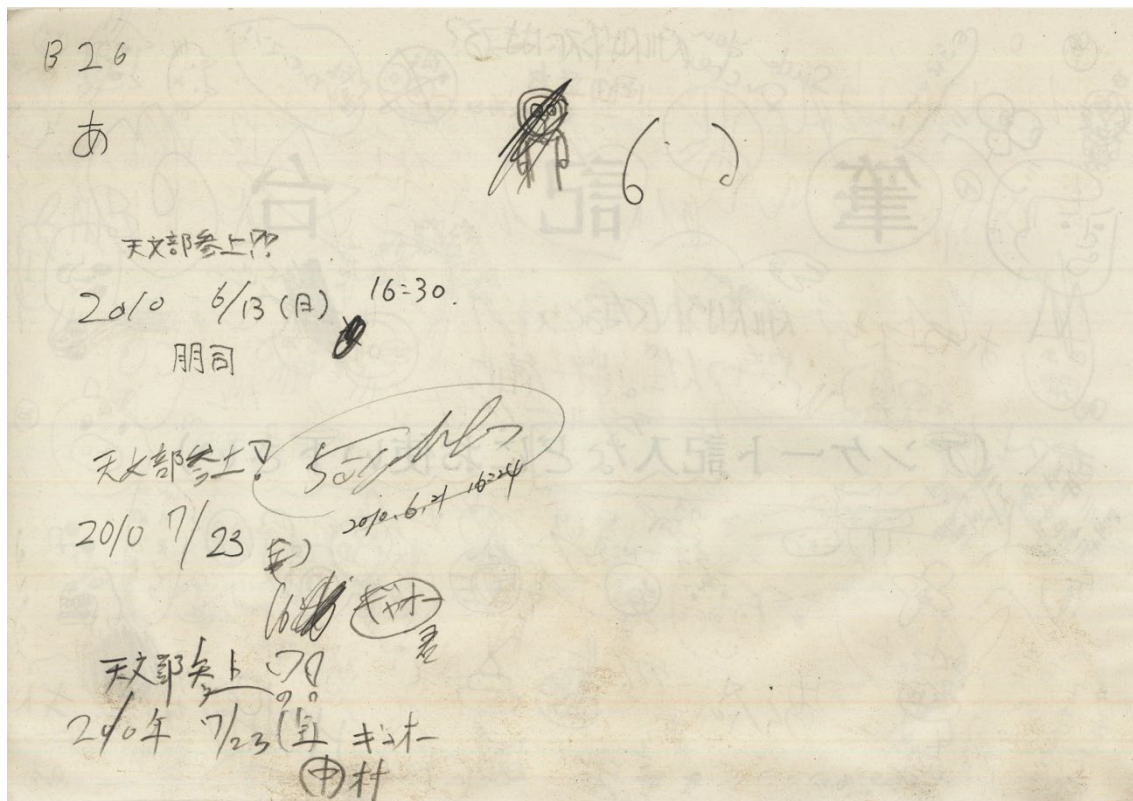


写真2 裏面にまで及んだ見学者のラクガキ

この記事は、このような落書きがあつて困っているという事が言いたいわけではない。おそらく見学者の中の小学生あたりが書いたものでほほえましく見ているのであるが、これも天文台の見学コースの一面である。